



## 新設の環境共生学部が、名塩野外活動センターで フィールドワークに取り組んでいます。

武庫川女子大学環境共生学部1期生が、兵庫県西宮市にある「名塩野外活動センター」でのフィールドワークに取り組んでいます。学校法人が所有する既存施設を改修し、山道も整備しました。環境分野の学びを、ぜひご覧ください。

武庫川女子大学環境共生学部1期生が、「名塩野外活動センター」(兵庫県西宮市清瀬台21-8)でのフィールドワークに取り組んでいます。名塩野外活動センターは、大学の運営母体である武庫川学院が所有する施設で、1999年に完成。武庫川女子大学附属中学校、高等学校における野外活動の拠点として使われてきました。

大学は、1年次からのフィールドワークを特長とする環境共生学部の新設を機に、名塩野外活動センターを改修。外壁を塗り替え、休憩スペースになるミーティングルームや、長靴・ヘルメットなどの装備一式を収納できる棚を設け、シャワールームやトイレの水回りも新しくしました。また、管理棟から山頂までの登山道も整備しました。

5月22日には、学生たちが改修後の名塩野外活動センターを初めて訪れ、石庭寛子准教授(野生動物生態学)と山に登り、センサーカメラ4台を設置しました。これから、どんな動物が生息しているのかを探っていきます。「環境」に関する学部は、全国の大学で新設が相次ぐ注目の学問分野です。武庫川女子大学環境共生学部が、名塩野外活動センターで、どのような取り組みをしているのか。興味のある方は、ぜひ取材にお越しください。

次回の名塩野外活動センターでの実習は、6月10日(火)午後2時40分からを予定しています。広報室まで、お問い合わせください。



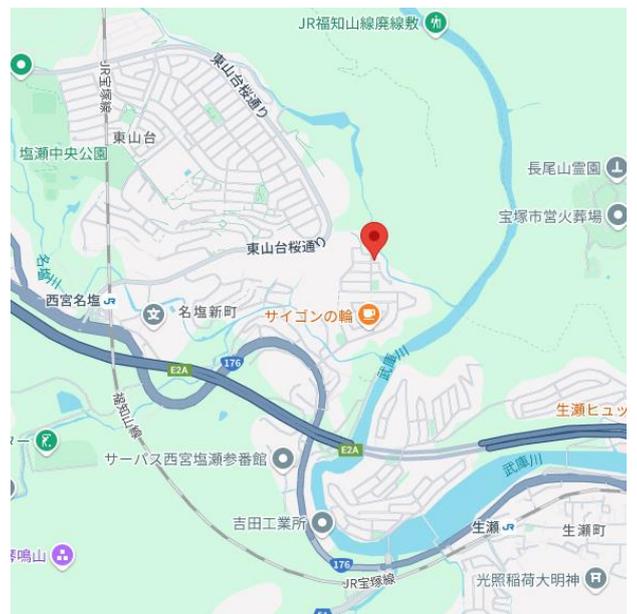
△改修された名塩野外活動センター



△山頂の展望台からの景色。中国自動車道が見える



△学生が幹に取り付けたセンサーカメラ



△名塩野外活動センター(兵庫県西宮市清瀬台 21-8)

■武庫川女子大学広報室

取材のお申込みは下記までお願いいたします。

【電話】0798-45-3533

【メール】[kohos@mukogawa-u.ac.jp](mailto:kohos@mukogawa-u.ac.jp)